

宮歯発第 417 号
令和 元年11月29日
(病診連携委員会)

会 員 各 位

一般社団法人宮城県歯科医師会
会 長 細 谷 仁 憲

—日本糖尿病協会 登録歯科医のための認定講習会—

糖尿病講習会のご案内

向寒の候、皆様方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より本会事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本糖尿病協会 登録歯科医のための認定糖尿病講習会を下記のとおり開催いたします。

大変有意義で日常臨床に大いに役立つ内容のお話しが聞けると思いますので日本糖尿病協会 歯科登録医以外の先生方及びスタッフ等の皆様もご参加下さいますようご案内申し上げます。

受講申込につきましては **令和2年2月20日(木)まで** 受講申込書を宮歯事務局宛 **FAX** またはメールにてお送り下さいますようお願いいたします。

期日まで申込された受講者の皆様には講習会終了後受講証をお渡しします。

また、本講習会は、CDE-MIYAGI 認定更新のための研修会に申請しております。

記

日 時 令和2年 2月29日(土) 19時～21時

場 所 宮城県歯科医師会館 5階講堂

講 演 「糖尿病をコントロールする」から「治す」を目指す糖尿病治療

東北医科薬科大学医学部 内科学第二(糖尿病代謝内科)
教授 赤井裕輝 先生

生涯研修ICカードをご持参下さい

問合せ先 宮城県歯科医師会 事務局(佐藤)

TEL:022-222-5960

FAX:022-215-3442

E-mail: satou@miyashi.or.jp

「糖尿病をコントロールする」から「治す」を目指す糖尿病治療

東北医科薬科大学医学部内科学第二 赤井裕輝

糖尿病は治らない疾患であろうか。日本糖尿病学会編『科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン』改訂第2版には、「糖尿病治療の目標は、臨床症状を除くことはもとより糖尿病に特徴的な合併症、糖尿病に併発しやすい合併症の発症、増悪を防ぎ、健康人と同様な日常生活の質（QOL）を保ち、健康人と変わらない寿命を全うすることにある。」とある。糖尿病を治すことは目標になっていない。しかしこのコンセンサスは私が学生であった昭和50年代にはすでにあつた。現実には、入院のうえでの適切な食事療法と強化インスリン療法によって耐糖能を大幅に改善させられるのである。改善後にブドウ糖負荷試験をしてみると、境界型への回復者が当科では毎月出る。年に数人は正常型まで戻る。若い肥満患者ほど成功しやすい。ほとんどの専門医が糖尿病から抜け出せる事実気づいていないので、患者はチャレンジされないまま年月を経て治らない糖尿病に進ませている。講演では糖尿病治療の可能性をお話しさせて頂く。

〔略歴〕

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| 1979年（S54） | 弘前大学医学部卒業
東北大学病院，由利組合病院（秋田県）で初期研修 |
| 1981年（S56） | 東北大学第三内科入局，大学院入学（後藤由夫教授） |
| 1982年（S57） | 国立生理学研究所受託大学院生（矢内原昇教授） |
| 1985年（S60） | 東北大学大学院医学研究科修了 医学博士 |
| 1987年（S62） | 米国国立衛生研究所（NIH）客員研究員 |
| 1990年（H2） | 東北大学医学部第三内科 助手 |
| 1994年（H6） | 仙台厚生病院 糖尿病代謝科部長 |
| 2003年（H15） | 東北大学医学部糖尿病代謝科 臨床教授（併任） |
| 2004年（H16） | 仙台厚生病院 副院長 |
| 2007年（H19） | 東北労災病院 副院長 |
| 2016年（H28） | 東北医科薬科大学糖尿病代謝内科 病院教授 |
| 2018年（H30） | 東北医科薬科大学内科学第二（糖尿病代謝内科）教授 |

糖尿病講習会 受講申込書

日時：令和2年 2月29日（土）19時～21時

場所：宮城県歯科医師会館 5階講堂

※申込締切日 令和2年2月20日（木）

ご氏名 _____ 市町村名 _____

診療所名・勤務先 _____

TEL _____ FAX _____

職種（該当するものを○で囲んでください）

・ 歯科医師

・ 歯科衛生士

CDE-MIYAGI 取得者はレチェックを付けてください。

・ その他（具体的に） _____

宮城県歯科医師会事務局
病診連携委員会（佐藤）
TEL：022-222-5960
FAX：022-215-3442

＜宮歯事務局 FAX 022-215-3442＞